

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、「米格付会社フィッチがブラジルの格付を数週間以内に見直す可能性がある」との報道を受け、取引開始直後からレアル売りで反応。一時3.28台前半までレアル安が進行した（なお、Levy財務相は本日フィッチの代表者と面談を実施する模様）。しかし、米2月住宅着工件数が前月比17%減（直近4年間で最大の減少率を記録）と市場予想を下回ったことで、引けにかけては一転してドル売りが優勢となり、3.24台で取引を終えた。多くの市場参加者は本日公表されるFOMC声明文からフォワード・ガイダンスである「patient（辛抱強く）」との文言が削除され、2006年以降で初となる利上げが6月に決定されるとの予想を維持しているものの、足許の米経済指標は雇用者数の伸びを除いていずれも軟調な数字を示していることから、イエレン議長が景気のダウンサイドリスクについて言及し、マーケットの早期利上げ観測が後退する可能性も一部で指摘されている。景気後退懸念やペトロブラスの汚職疑惑などレアルを取り巻く環境は急速に悪化しているが、利上げ観測の後退はレアルの一時的なサポート要因となり得るため、本日のFOMCの動向には注目である。ボベスパ株式指数は前日比2.9%高。

16日に中銀が公表した1月経済活動指数（四半期毎に発表されるGDPの先行指標）は前月比0.11%の低下となった。中銀は、企業信頼感の低下や投資の落ち込み、財政赤字削減とインフレ抑制のための増税と金利引き上げが成長の阻害要因になっているとの調査結果を報告している。

マーケットデータ

Indicator	Unit	3月16日	3月17日	前日比	2月13日	1ヶ月前比
BRL / JPY Spot	JPY	37,39	37,45	+0,06	41,91	-4,46
USD / BRL Spot	BRL	3,2457	3,2397	-0,0060	2,8347	+0,4050
USD / JPY Spot	JPY	121,34	121,37	+0,03	118,75	+2,62
Bovespa（ブラジル株価指数）	Index	48.848	50.285	+1.437	50.636	-351
CDS Brazil 5yrs（クレディットデフォルトスワップ）	bps	306,4	304,9	-1,5	238,4	+66,5
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	13,44	13,10	-0,34	12,64	+0,46
DI Future Apr16（金利先物）	%	13,92	13,79	-0,13	13,22	+0,57
3 Months US Dollar Libor	%	0,270	0,270	+0,000	0,257	+0,013
CRB Index（国際商品指数）	Index	210,1	209,0	-1,1	229,2	-20,2

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

